



2023 年 10 月 31 日

2023 年度 第 3 四半期 決算レポート

1-9 月実績（対 2022 年）

- ・ 売上収益は 7.4%増の 2 兆 1,570 億円
- ・ 為替一定ベースの core revenue は 5.9%増の 2 兆 492 億円
- ・ 為替一定ベースの調整後営業利益は 5.9%増の 6,755 億円
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は 4.2%増の 6,644 億円
- ・ 営業利益は 9.1%増の 6,318 億円
- ・ 四半期利益は 9.5%増の 4,420 億円

2023 年今回見込（対前回見込）

- ・ 売上収益は 850 億円の上方修正
- ・ 為替一定ベースの core revenue は 630 億円の上方修正
- ・ 為替一定ベースの調整後営業利益は 340 億円の上方修正
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は 380 億円の上方修正
- ・ 営業利益及び当期利益はそれぞれ 450 億円及び 70 億円の上方修正
- ・ フリーキャッシュフローは 250 億円の上方修正
- ・ 1 株当たりの年間配当予想は 188 円と当初予定から変更なし

財務数値の詳細については P.13「データシート」をご参照ください。

代表取締役社長 寺島 正道 CEO コメント:

“引き続き、たばこ事業におけるプライシング及び継続的なシェア伸長による販売数量の増加が貢献し、第 3 四半期も、力強い実績となりました。

将来に亘る利益成長の基盤づくりに向け、HTS への投資は計画通りに進捗しております。日本における Ploom X の HTS カテゴリ内シェアは競争が激化する中でも着実に伸張しており、この 7-9 月期には初めて 10%を超えました。また 7 月以降には、スイスをはじめポーランド、ハンガリー、ルーマニア、ギリシャで発売し、11 月初旬からはカザフスタンで展開予定です。2024 年度においても積極的な海外展開を継続し、2024 年度末までに 28 市場での展開を予定しております。

通期の業績予想においては、たばこ事業における力強いトップラインの伸長を見込むことから、為替一定調整後営業利益は前回の業績見込から上方修正としました。財務報告ベースにおいても引き続き円安影響を見込み、上方修正いたしました。1 株当たり年間配当金予想は、当社の株主還元方針を踏まえ、当初予想の 188 円から変更ありません。

今後とも、経営理念である 4S モデル*に則り適切な経営判断を下し、グループ一丸となって通期業績見込み達成に向けて進んでいくとともに、JT Group Purpose**・各事業における Purpose の実現に向けた取り組みを継続していきます。”

* JT グループの経営理念である「4S モデル」の追求は、「お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく」という考え方です。私たちは、「4S モデル」の追求を通じ、中長期に亘る持続的な利益成長の実現を目指しています。この「4S モデル」を追求していくことが、企業価値の継続的な向上につながり、4者のステークホルダーにとって共通利益となるベストなアプローチであると確信しております。

** 自然・社会・個人の様々なスケールで非連続な変化が起こり、事業環境の不確実性・複雑性がますます高まっている状況下において、JT グループが持続的な存在であるための方向性を明確にするものとして、JT Group Purpose「心の豊かさを、もっと。」を策定いたしました。時代や人により、多様で、変化していく「心の豊かさ」の領域を、今後も社会から任せられ、貢献できる存在であり続けるため、絶えず進化してまいります。

投資家説明会

投資家説明会は、2023年10月31日、東京時間 17時00分より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。<https://www.jti.co.jp/investors/index.html>

超インフレ会計の適用及びこれに伴う調整について

当社グループは、2020 年度第3 四半期より IAS 第29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2022 年度、2023 年度実績及び2023 年度見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績及び見込は、特定のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について、一定の算定方法を用いて控除しています。なお、2023 年度第3 四半期時点では、エチオピア、イラン、スーダン、トルコが含まれています。

2023 年度 第 3 四半期 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2023 年 7-9 月	2022 年 7-9 月	増減率	2023 年 1-9 月	2022 年 1-9 月	増減率
売上収益	7,642	7,417	+3.0%	21,570	20,085	+7.4%
調整後営業利益	2,215	2,230	-0.6%	6,644	6,378	+4.2%
営業利益	2,183	1,964	+11.2%	6,318	5,793	+9.1%
四半期利益	1,550	1,397	+10.9%	4,420	4,038	+9.5%
為替一定ベース core revenue	7,468	7,156	+4.4%	20,492	19,347	+5.9%
為替一定ベース 調整後営業利益	2,412	2,230	+8.2%	6,755	6,378	+5.9%

2023 年 7-9 月

- 売上収益**
 売上収益については、たばこ事業及び医薬事業における増収により、前年同期比 3.0%増の 7,642 億円となりました。為替一定ベース core revenue については、前年同期比 4.4%増の 7,468 億円となりました。
- 調整後営業利益**
 財務報告ベースの調整後営業利益については、全ての事業において増益があったものの、一部現地通貨が円高方向に推移したことにより為替影響がネガティブに発現し、前年同期比 0.6%減の 2,215 億円となりました。為替一定ベースでは、前年同期比 8.2%増の 2,412 億円となりました。
- 営業利益**
 営業利益については、不動産売却益の増加及びたばこ事業における商標権償却費の減少影響が、調整後営業利益の減少を上回り、前年同期比 11.2%増の 2,183 億円となりました。
- 四半期利益**
 四半期利益については、営業利益の増加により、前年同期比 10.9%増の 1,550 億円となりました。

2023 年 1-9 月

- 売上収益**
 売上収益については、たばこ事業及び医薬事業における増収により、前年同期比 7.4%増の 2 兆 1,570 億円となりました。為替一定ベース core revenue については、前年同期比 5.9%増の 2 兆 492 億円となりました。
- 調整後営業利益**
 財務報告ベースの調整後営業利益については、全ての事業において増益があったものの、一部現地通貨が円高方向に推移したことにより為替影響がネガティブに発現し、前年同期比 4.2%増の 6,644 億円となりました。為替一定ベースでは、前年同期比 5.9%増の 6,755 億円となりました。
- 営業利益**
 営業利益については、調整後営業利益の増加に加えて、不動産売却益の増加及びたばこ事業における商標権償却費の減少影響により、前年同期比 9.1%増の 6,318 億円となりました。
- 四半期利益**
 四半期利益については、営業利益の増加により、前年同期比 9.5%増の 4,420 億円となりました。

事業別実績

たばこ事業

(億円)	2023 年 7-9 月	2022 年 7-9 月	増減率	2023 年 1-9 月	2022 年 1-9 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	6,741	6,554	+2.8% (+4.7%)*	18,913	17,607	+7.4% (+6.0%)*
調整後営業利益	2,267	2,283	-0.7% (+7.9%)*	6,768	6,534	+3.6% (+5.3%)*
参考 (億本、億円)						
総販売数量	1,413	1,392	+1.5%	4,106	4,020	+2.1%
Combustibles 販売数量	1,390	1,373	+1.2%	4,042	3,960	+2.1%
RRP 販売数量	23	20	+17.1%	65	60	+8.2%
RRP 関連売上収益	227	197	+15.0%	621	589	+5.6%

*為替一定ベース

2023 年 7-9 月

・ 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は、Western Europe 及び EMA におけるポジティブな単価差/商品構成影響 384 億円が、Asia 及び Western Europe におけるネガティブな数量差影響 78 億円及びネガティブな為替影響を上回り、前年同期比で 2.8%増加しています。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年同期比で 4.7%増加しています。RRP 関連売上収益は、Ploom X の伸長により RRP 販売数量が二桁パーセント成長したことで、前年同期と比べて 15.0%増加しています。

財務報告ベースの調整後営業利益は、ネガティブな為替影響により、前年同期比で 0.7%減少しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、ポジティブな単価差/商品構成影響が、Ploom X の地理的拡大を含む投資の増加及びインフレによるコストの増加を上回り、前年同期比 7.9%増加しています。

・ 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、EMA での伸長が、Asia 及び Western Europe における総需要減少影響を上回ったことにより、前年同期比 1.5%の増加となりました。Combustibles 販売数量は、継続的な市場シェア伸張及び Winston 並びに Camel の伸長（それぞれ+9.1%、+18.1%）により、前年同期比 1.2%の増加となりました。RRP 販売数量は、日本市場における継続的なシェア伸張や欧州における Ploom X の新規投入により、前年同期比 17.1%の増加となりました。

市場シェア²は、イタリア・日本・フィリピン・ルーマニア・ロシア・台湾といった主要市場を中心に伸張しています。

2023 年 1-9 月

・ 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は、Western Europe 及び EMA を中心としたポジティブな単価差/商品構成影響 1,087 億円及びポジティブな為替影響が、Western Europe におけるネガティブな数量差影響 27 億円を上回り、前年同期と比べて 7.4%増加しています。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年同期比 6.0%増加しています。RRP 関連売上収益は、RRP 販売数量の伸長が加速したことにより、前年同期と比べて 5.6%増加しています。

財務報告ベースの調整後営業利益は、ポジティブな単価差/商品構成影響が、インフレによるコストの増加、

Ploom X の地理的拡大を含む投資の増加及びネガティブな為替影響を上回り、前年同期比 3.6%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期比 5.3%増加しています。

販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、Asia 及び EMA において、継続的なシェア伸張及び一部市場における堅調な総需要トレンドにより販売数量が伸長し、英国を中心とした Western Europe における総需要減少影響を上回り、前年同期比 2.1%の増加となりました。Combustibles 販売数量は、Winston 及び Camel の伸長（それぞれ+8.1%、+18.2%）により、前年同期比 2.1%の増加となりました。RRP 販売数量は、一時的な要因による前年との不利な比較があったものの、8.2%の増加となりました。一時的な要因を除いた場合、日本市場において HTS 販売数量が 46.5%成長したことや欧州における PloomX の新規投入により、RRP 販売数量は 18.8%の増加となりました。Ploom X は現在、チェコ・ギリシャ・ハンガリー・イタリア・日本・リトアニア・ポーランド・ポルトガル・ルーマニア・スイス・英国で展開しています。

市場シェア²は、イタリア・日本・フィリピン・ルーマニア・ロシア・台湾といった主要市場を中心に伸張しています。

たばこ事業 クラスター別 実績

Asia

(億円)	2023 年 1-9 月	2022 年 1-9 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	5,991	6,093	-1.7% (-2.6%)*
調整後営業利益	2,128	2,308	-7.8% (-7.2%)*

参考 (億本)

総販売数量	960	958	+0.2%
-------	-----	-----	-------

*為替一定ベース

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、日本におけるポジティブな数量差影響、およびポジティブな為替影響が発現したものの、日本を中心としたネガティブな単価差/商品構成影響がそれらを上回り、前年同期比 1.7%減少しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年同期比 2.6%減少しました。

調整後営業利益は、コストの減少があったものの、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期比 7.8%減少しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期と比べて 7.2%減少しました。

販売数量及び市場シェア¹

総販売数量及び GFB 販売数量は、バングラデシュ・インドネシア・日本における Camel の伸長により、前年同期比でそれぞれ 0.2%、6.7%増加しました。市場シェアは、バングラデシュ・カンボジア・日本・マレーシア・フィリピン・シンガポール・韓国・台湾において伸張しました。

市場別実績¹

日本における総販売数量は、Combustibles 及び RRP のカテゴリ内シェア伸張により、総需要のトレンド（+0.7%）を上回り、前年同期比 2.3%の増加となりました。総需要は RRP カテゴリの伸張（+11.7%）により微増となりました。市場シェアは、前年同期比 0.6 パーセントポイント増の 42.9%になりました。

Combustibles 販売数量は、Combustibles 総需要の減少があったものの、カテゴリ内シェア伸張により、前年同期比 0.3%の増加となりました。Combustibles カテゴリ内シェアは、Camel Craft の牽引により、前年同期比 3.1

パーセントポイント増の 60.8%になりました。Combustibles 総需要は、前年同期と比べて 4.8%減少したものと推計しています。

RRP 販売数量は、前年同期と比べて 21.3%増加しました。RRP カテゴリ内シェアは、前年同期比 1.0 パーセントポイント増の 13.0%になりました。Ploom X の販売数量は、前年同期と比べて 46.5%増加しました。HTS カテゴリ内シェアは引き続き伸張し、前年同期比 2.2 パーセントポイント増の 9.8%になりました。なお、RRP 市場占有率(出荷ベース)は、37.4%と推計しています。

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響が発現したものの、ネガティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。

フィリピン²における総販売数量は、増税に伴う値上げにより総需要が減少したことにより、前年同期比で 5.1%減少しました。GFB 販売数量は、Camel の伸長により、35.8%増加しました。市場シェアは、Camel のシェア伸張により、前年同期比 3.7 パーセントポイント増の 42.1%と推計しています。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回り、前年同期と比べ増加しました。

台湾²における総販売数量及び GFB 販売数量は、渡航制限の段階的な緩和に伴う総需要減少により、前年同期と比べてそれぞれ 3.7%、4.4%減少しました。市場シェアは、Winston 及び LD の伸張により、前年同期比 1.4 パーセントポイント増の 50.2%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。

Western Europe

(億円)	2023 年 1-9 月	2022 年 1-9 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	4,676	4,134	+13.1% (+4.0%)*
調整後営業利益	2,100	1,932	+8.7% (+3.2%)*

参考 (億本)

総販売数量	805	840	-4.2%
--------------	-----	-----	-------

*為替一定ベース

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、英国におけるネガティブな数量差影響がイタリア・ポルトガルにおけるポジティブな数量差影響を上回ったものの、主にフランス・ドイツ・アイルランド・スペイン・スウェーデン・英国で発現したポジティブな単価差/商品構成影響及びポジティブな為替影響により、前年同期比 13.1%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年同期比 4.0%増加しました。

調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加及びポジティブな為替影響が、Ploom X の地理的拡大を含むコストの増加を上回り、前年同期比 8.7%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期比 3.2%増加しました。

• 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量及び GFB 販売数量は、複数の市場において市場シェアが引き続き伸張したものの、英国を中心とした多くの市場における総需要の減少により、前年同期と比べてそれぞれ 4.2%、0.3%減少しました。市場シェアは、ベルギー・フランス・ドイツ・イタリア・ルクセンブルク・オランダ・ポルトガル・スイスにおいて伸張しました。

- 市場別実績¹

イタリアにおける総販売数量は、市場シェア伸張及び新規展開した Ploom X の貢献により、前年同期と比べて 1.5%増加しました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期と比べて 1.3%増加しました。GFB 販売数量は、Winston の伸長により、前年同期比 0.6%増加しました。市場シェアは、前年同期比 0.2 パーセントポイント増の 23.2%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響があったものの、ネガティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。

スペインにおける総販売数量は、渡航制限緩和後の一時的な総需要増加トレンドの収束に伴う総需要の減少により、前年同期と比べて 2.2%減少しました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期比 2.9%の減少となりました。GFB 販売数量は、前年同期比 2.0%減少しました。市場シェアは前年同期と同水準の 27.9%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回り、前年同期と比べ増加しました。

英国における総販売数量は、増税に伴う値上げ及び上半期における渡航制限の緩和等による、上半期での大幅な総需要減少により、前年同期と比べて 19.2%減少となりました。市場シェアは、Benson & Hedges が前年同期と比べて 0.8 パーセントポイント増加したものの、前年同期比 0.9 パーセントポイント減の 43.8%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回り、前年同期と比べて増加しました。

EMA

(億円)	2023 年 1-9 月	2022 年 1-9 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	8,246	7,379	+11.7% (+14.3%)*
調整後営業利益	2,540	2,294	+10.7% (+19.6%)*

参考 (億本)

総販売数量	2,341	2,222	+5.4%
--------------	-------	-------	-------

*為替一定ベース

- 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな為替影響があったものの、エジプト・Global Travel Retail・イラン・トルコを中心に発現したポジティブな数量差影響、及びカナダ・ポーランド・ロシア・トルコにおけるポジティブな単価差/商品構成影響により、前年同期比 11.7%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年同期比 14.3%増加しました。

調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加がコストの増加及びネガティブな為替影響を上回り、前年同期比 10.7%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期比 19.6%増加しました。

- 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量及び GFB 販売数量は、主にアゼルバイジャン・ブラジル・エジプト・イラン・トルコ、及び引き続き回復傾向である Global Travel Retail における増加により、前年同期と比べてそれぞれ 5.4%、10.6%増加しました。市場シェアは、アゼルバイジャン・ブラジル・カナダ・チェコ・イラン・ヨルダン・メキシコ・ルーマニア・ロシア・サウジアラビア・南アフリカ・米国において伸張しました。

- **市場別実績¹**

ルーマニアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要の増加をアウトパフォームし、前年同期と比べてそれぞれ 4.0%、19.8%増加しました。また、10 月 2 日には、HTS の地理的拡大の一環として、Ploom X をローンチしました。市場シェアは、Combustibles における Camel の伸張もあり、前年同期比で 0.2 パーセントポイント増の 27.7%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べて増加しました。

ロシアにおける総販売数量は、総需要³の減少及び Ploom S の販売終了により、前年同期と比べて 2.1%減少しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期比 0.7%の減少となりました。総需要は、前年同期と比べて 2.4%減少したものと推計しています。GFB 販売数量は、市場シェア伸張により、前年同期と比べて 3.3%増加しました。市場シェアは、Winston、Camel 及び Sobranie の伸張により、前年同期比で 0.4 パーセントポイント増の 37.2%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回ったことで、前年同期と比べて増加しました。

トルコ²における総販売数量は、昨年との有利な比較、消費の活性化及び不法取引の減少に伴う総需要の増加により、前年同期と比べて 15.6%増加しました。GFB 販売数量は、Winston、Camel 及び LD の伸長により、前年同期と比べて 16.3%増加しました。市場シェアは、Winston の伸張があったものの、前年同期比 0.8 パーセントポイント減の 27.1%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べて増加しました。

¹ 出典：市場シェアは、JT グループ内部データ等。特に言及がない限り、市場シェアは 2023 年 1 月から 9 月までの平均ベース。9 カ月平均市場シェアの増減算出の比較対象は前年同期との比較。なお、ブラジル・カンボジア・カナダ・フランス・ドイツ・イタリア・マレーシア・ポルトガル・ルーマニア・ロシア・サウジアラビア・シンガポール・南アフリカ・韓国・スペイン・スイス・トルコは 2023 年 1 月から 8 月までの平均ベース。

² 2023 年度より、全ての市場において、市場シェアは Combustibles 及び HTP（Heated tobacco products）の総需要を基に算出（フィリピン・台湾の市場シェアは combustibles のみ、トルコの市場シェアは RMC のみ。日本及びロシアについては変更なし）。

³ 出典：JT グループ内部データ。RMC 及び HTS を対象とする 2023 年 1-9 月期の対前年同期比較。

医薬事業

(億円)	2023 年 7-9 月	2022 年 7-9 月	増減	2023 年 1-9 月	2022 年 1-9 月	増減
売上収益	221	204	+18	698	597	+101
調整後営業利益	31	24	+7	131	73	+59

2023 年 7-9 月

• 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、当社の連結子会社である鳥居薬品の増収及び円安による海外ロイヤリティ収入の増加により、前年同期比で増収となりました。

調整後営業利益は、売上収益の増収により、研究開発費の増加があったものの、前年同期比で増益となりました。

2023 年 1-9 月

• 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、導出品のライセンス契約に係る一時金収入及び当社の連結子会社である鳥居薬品の増収により前年同期比で増収となりました。

調整後営業利益は、23 年 7-9 月期と同様の要因により、前年同期比で増益となりました。

加工食品事業

(億円)	2023 年 7-9 月	2022 年 7-9 月	増減	2023 年 1-9 月	2022 年 1-9 月	増減
売上収益	381	393	-13	1,115	1,128	-13
調整後営業利益	17	4	+13	46	19	+28

2023 年 7-9 月

• 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、冷食・常温事業における前年度及び今年度を実施した価格改定に加えて、外食需要の回復による業務用製品の増収があるものの、ベーカリー事業の譲渡に伴う売上収益の剥落により、前年同期比で減収となりました。

調整後営業利益は、前年度と比較して原材料費等の大幅な高騰はあるものの、前年度及び今年度における価格改定効果や業務用製品の増収により、前年同期比で増益となりました。

2023 年 1-9 月

• 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、23 年 7-9 月期と同様の要因により、前年同期と概ね同水準となりました。

調整後営業利益は、23 年 7-9 月期と同様の要因により、前年同期比で増益となりました。

2023 年度 修正見込

全社見込

(億円)	2023 年 今回見込	2023 年 前回見込	対前回見込	対前年実績
売上収益	28,440	27,590	+850	+7.0%
調整後営業利益	7,210	6,830	+380	-0.9%
営業利益	6,780	6,330	+450	+3.7 %
当期利益	4,640	4,570	+70	+4.8%
フリー・キャッシュ・フロー	5,030	4,780	+250	-
為替一定ベース core revenue	27,000	26,370	+630	+5.6%
為替一定ベース 調整後営業利益	7,640	7,300	+340	+5.0%
基本的 EPS (円) *	261.39	257.46	+3.93	+4.8%

*基本的 EPS は当期利益を基に算定

- **売上収益**

財務報告ベースの売上収益については、たばこ事業及び医薬事業において売上収益を上方修正したことに加えて、為替前提の見直しにより、前回見込より 850 億円上方修正し、前年度比 7.0%増の 2 兆 8,440 億円を見込んでいます。

- **調整後営業利益**

財務報告ベースでの調整後営業利益は、全ての事業において調整後営業利益を上方修正したことに加えて、為替前提の見直しにより、当初見込より 380 億円上方修正し、前年度比 0.9%減の 7,210 億円を見込んでいます。

為替一定ベースの調整後営業利益については、前回見込より 340 億円上方修正し、前年度比 5.0%増の 7,640 億円を見込んでいます。

- **営業利益及び当期利益**

営業利益については、調整後営業利益の上方修正に加えて、調整項目における不動産売却益の増加を見込むことにより、当初見込より 450 億円上方修正し、前年度比 3.7%増の 6,780 億円を見込んでいます。当期利益については、営業利益の上方修正を、金融損益の悪化及び実効税率の上昇に伴う法人税負担の増加が一部相殺し、当初見込より 70 億円上方修正し、前年度比 4.8%増の 4,640 億円を見込んでいます。

- **フリー・キャッシュ・フロー**

フリー・キャッシュ・フローについては、調整後営業利益の上方修正等を運転資本の悪化が一部相殺し、当初見込より 250 億円増の 5,030 億円を見込んでいます。

事業別見込

たばこ事業

(億円)	2023 年 今回見込	2023 年 前回見込	対前回見込	対前年実績
自社たばこ製品売上収益	24,900	24,000	+900	+7.5% (+5.9%)*
調整後営業利益	7,470	7,100	+370	-0.9% (+4.8%)*

*為替一定ベース 対前年度増減率

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、底堅い総需要トレンド及びシェアの伸張による力強い総販売数量、力強いプライシング効果並びに想定を上回る円安の進行により、前回見込より 900 億円上方修正し、前年度比 7.5%の増加となる見込みです。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年度比 5.9%の増加となる見込みです。

調整後営業利益は、想定を上回る円安の進行により、前回見込より 370 億円上方修正し、前年度比 0.9%の減少となる見込みです。為替一定ベースの調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の上方修正が、インフレに伴うコストの増加、スーダンにおける事業一時停止影響を含む一時的なネガティブ要因及び Ploom X の地理的拡大を含む事業投資強化を上回り、前年度比 4.8%の増加となる見込みです。

- **販売数量**

総販売数量は、総需要及び市場シェアが堅調であった 1-9 月期の実績を反映し、上方修正しています。総販売数量は、GFB 販売数量の増加及び Ploom X の地理的拡大も含む RRP 販売数量の伸長により、前年度比 1.5%程度の増加となる見込みです。GFB 販売数量は、Camel の伸長により、前年度比 6.5%程度の増加となる見込みです。

医薬事業

(億円)	2023 年 今回見込	2023 年 前回見込	対前回見込	対前年実績
売上収益	940	920	+20	+111
調整後営業利益	155	135	+20	+44

- 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、当社連結子会社の鳥居薬品の増収見込、及び円安による海外ロイヤリティ収入の上振れを織り込み、20 億円上方修正し、前年度比で 111 億円の増収を見込んでいます。

調整後営業利益は、売上収益の上方修正により、20 億円上方修正し、前年度比で 44 億円の増益を見込んでいます。

加工食品事業

(億円)	2023 年 今回見込	2023 年 前回見込	対前回見込	対前年実績
売上収益	1,530	1,550	-20	-25
調整後営業利益	60	55	+5	+25

- 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、冷食・常温事業における一部家庭向け製品の販売動向を織り込み、20 億円下方修正し、前年度比で 25 億円の減収を見込んでいます。

調整後営業利益は、売上収益の下方修正はあるものの、光熱費を中心としたコストの見通しを精緻化したことにより、5 億円上方修正し、前年度比で 25 億円の増益を見込んでいます。

データシート

2023年度 第3四半期実績

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2023 Q3累計	2022 Q3累計	増減	増減率
売上収益	21,570	20,085	+1,485	+7.4%
営業利益	6,318	5,793	+525	+9.1%
調整後営業利益	6,644	6,378	+265	+4.2%
税引前利益	5,862	5,356	+506	+9.4%
四半期利益	4,420	4,038	+382	+9.5%
基本的EPS* (円)	249.01	227.53	+21.48	+9.4%

*四半期利益を基に算定

(参考)

(単位：億円)

	2023 Q3累計	2022 Q3累計	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	20,492	19,347	+1,145	+5.9%
為替一定ベース調整後営業利益	6,755	6,378	+377	+5.9%

2. 事業セグメント別実績

(単位：億円)

	2023 Q3累計	2022 Q3累計	増減	増減率
全社 売上収益	21,570	20,085	+1,485	+7.4%
たばこ事業	19,745	18,345	+1,400	+7.6%
自社たばこ製品売上収益	18,913	17,607	+1,306	+7.4%
医薬事業	698	597	+101	+17.0%
加工食品事業	1,115	1,128	-13	-1.2%
その他	12	15	-3	-22.5%
全社 営業利益	6,318	5,793	+525	+9.1%
たばこ事業	6,313	5,941	+372	+6.3%
医薬事業	131	73	+59	+80.5%
加工食品事業	55	7	+48	+661.2%
その他/消去	-180	-227	+47	-
調整合計	-325	-585	+260	
たばこ事業	-456	-594	+138	
医薬事業	-	-	-	
加工食品事業	9	-11	+20	
その他/消去	122	21	+101	
全社 調整後営業利益	6,644	6,378	+265	+4.2%
たばこ事業	6,768	6,534	+234	+3.6%
医薬事業	131	73	+59	+80.5%
加工食品事業	46	19	+28	+150.1%
その他/消去	-302	-248	-55	-

2023年度 第3四半期実績

3. 減価償却費及び償却費*

(単位：億円)

	2023 Q3累計	2022 Q3累計	増減
全社 減価償却費及び償却費	1,125	1,350	-225
たばこ事業	1,039	1,251	-212
医薬事業	30	36	-7
加工食品事業	48	49	-2
その他/消去	8	13	-5

*リース取引に係る減価償却費を除く

4. 連結財政状態データ

(単位：億円)

	2023年9月末	2022年12月末	増減
資産合計	71,015	65,481	+5,534
資本合計	40,016	36,168	+3,849
親会社の所有者に帰属する持分	39,191	35,404	+3,786
1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	2,207.55	1,994.78	+212.77

5. 手元流動性及び有利子負債

(単位：億円)

	2023年9月末	2022年12月末	増減
手元流動性	9,288	8,804	+485
有利子負債	10,140	9,583	+557

6. 連結キャッシュフロー・データ

(単位：億円)

	2023 Q3累計	2022 Q3累計	増減
営業キャッシュフロー	4,904	3,436	+1,468
投資キャッシュフロー	-1,040	-700	-341
財務キャッシュフロー	-4,137	-3,574	-564
現金及び現金同等物の期首残高	8,669	7,217	+1,452
現金及び現金同等物に係る換算差額等	295	1,405	-1,109
現金及び現金同等物の期末残高	8,690	7,785	+906
FCF	4,203	2,795	+1,408

7. 資本的支出

(単位：億円)

	2023 Q3累計	2022 Q3累計	増減
資本的支出	784	596	+188
たばこ事業	663	468	+195
医薬事業	63	21	+42
加工食品事業	38	64	-26
その他/消去	19	43	-23

8. 為替

	2023 Q3累計	2022 Q3累計	増減	増減率
100円/USD	0.72	0.78	-0.06	7.7%高
100円/RUB	59.67	56.03	+3.64	6.1%安
100円/GBP	0.58	0.62	-0.04	6.7%高
100円/EUR	0.67	0.74	-0.07	9.9%高
100円/CHF	0.65	0.75	-0.09	13.9%高
100円/TWD	22.40	22.89	-0.49	2.2%高
100円/TRY*	18.28	12.78	5.50	30.1%安
100円/PHP	40.20	41.88	-1.68	4.2%高

*IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2023年9月末日及び2022年9月末日レートを適用。

2023年度 今回見込
(2023/10/31公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2023 今回見込	2022 実績	増減	増減率
売上収益	28,440	26,578	+1,862	+7.0%
営業利益	6,780	6,536	+244	+3.7%
調整後営業利益	7,210	7,278	-68	-0.9%
当期利益	4,640	4,427	+213	+4.8%

(参考)

(単位：億円)

	2023 今回見込	2022 実績	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	27,000	25,557	+1,443	+5.6%
為替一定ベース調整後営業利益	7,640	7,278	+362	+5.0%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2023 今回見込	2022 実績	増減	増減率
基本的EPS*	261.39	249.45	+11.93	+4.8%
1株当たり配当金	188	188	-	-
ROE*	12.6%	13.9%	-1.4ppt	

*基本的EPS/ROEは当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別見込

(単位：億円)

	2023 今回見込	2022 実績	増減	増減率
全社 売上収益	28,440	26,578	+1,862	+7.0%
たばこ事業	25,950	24,174	+1,776	+7.3%
自社たばこ製品売上収益	24,900	23,152	+1,748	+7.5%
医薬事業	940	829	+111	+13.4%
加工食品事業	1,530	1,555	-25	-1.6%
その他	20	20	+0	+1.2%
全社 営業利益	6,780	6,536	+244	+3.7%
たばこ事業	6,870	6,794	+76	+1.1%
医薬事業	155	111	+44	+39.1%
加工食品事業	70	42	+28	+67.8%
その他/消去	-315	-411	+96	-
全社 調整後営業利益	7,210	7,278	-68	-0.9%
たばこ事業	7,470	7,540	-70	-0.9%
医薬事業	155	111	+44	+39.1%
加工食品事業	60	35	+25	+71.0%
その他/消去	-475	-409	-66	-

2023年度 今回見込
(2023/10/31公表)

4. FCF

(単位：億円)

	2023 今回見込	2022 実績	増減
FCF	5,030	3,829	+1,201

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2023 今回見込	2022 実績	増減
資本的支出	1,235	1,010	+225
たばこ事業	1,020	838	+182
医薬事業	80	24	+56
加工食品事業	65	82	-17
その他/消去	70	66	+4

6. 業績予想の主な前提条件

○ たばこ事業

- ・ 2023年の総販売数量：対前年で1.5%程度の増加(2022年の総販売数量は5,273億本)
- ・ 2023年のGFB販売数量：対前年で6.5%程度の増加(2022年のGFB販売数量は3,624億本)

<為替前提レート>

	2023 今回見込	2022 実績	増減	増減率
100円/USD	0.72	0.76	-0.04	5.5%高
100円/RUB	61.60	53.06	+8.54	13.9%安
100円/GBP	0.57	0.62	-0.05	8.4%高
100円/EUR	0.66	0.73	-0.07	9.9%高
100円/CHF	0.64	0.73	-0.09	14.0%高
100円/TWD	22.27	22.72	-0.45	2.0%高
100円/PHP	39.75	41.55	-1.80	4.5%高

2023年度 今回見込 vs 前回見込
(2023/10/31公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2023 今回見込	2023 前回見込	増減	増減率
売上収益	28,440	27,590	+850	+3.1%
営業利益	6,780	6,330	+450	+7.1%
調整後営業利益	7,210	6,830	+380	+5.6%
当期利益	4,640	4,570	+70	+1.5%

(参考)

(単位：億円)

	2023 今回見込	2023 前回見込	増減	増減率
為替一定ベースcore revenue	27,000	26,370	+630	+2.4%
為替一定ベース調整後営業利益	7,640	7,300	+340	+4.7%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2023 今回見込	2023 前回見込	増減	増減率
基本的EPS*	261.39	257.46	+3.93	+1.5%
1株当たり配当金	188	188	-	-
ROE*	12.6%	12.5%	+0.1ppt	

*基本的EPS/ROEは当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2023 今回見込	2023 前回見込	増減	増減率
全社 売上収益	28,440	27,590	+850	+3.1%
たばこ事業	25,950	25,100	+850	+3.4%
自社たばこ製品売上収益	24,900	24,000	+900	+3.8%
医薬事業	940	920	+20	+2.2%
加工食品事業	1,530	1,550	-20	-1.3%
その他	20	20	-	-
全社 営業利益	6,780	6,330	+450	+7.1%
たばこ事業	6,870	6,500	+370	+5.7%
医薬事業	155	135	+20	+14.8%
加工食品事業	70	60	+10	+16.7%
その他/消去	-315	-365	+50	-
全社 調整後営業利益	7,210	6,830	+380	+5.6%
たばこ事業	7,470	7,100	+370	+5.2%
医薬事業	155	135	+20	+14.8%
加工食品事業	60	55	+5	+9.1%
その他/消去	-475	-460	-15	-

2023年度 今回見込 vs 前回見込
(2023/10/31公表)

4. FCF

(単位：億円)

	2023 今回見込	2023 前回見込	増減
FCF	5,030	4,780	+250

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2023 今回見込	2023 前回見込	増減
資本的支出	1,235	1,310	-75
たばこ事業	1,020	1,100	-80
医薬事業	80	80	-
加工食品事業	65	65	-
その他/消去	70	65	+5

6. 業績予想の主な前提条件の修正

たばこ事業	今回見込	前回見込
総販売数量	1.5%程度の増加	1.0%程度の減少
GFB販売数量	6.5%程度の増加	3.0%程度の増加

<為替前提レート>

	2023 今回見込	2023 前回見込	増減	増減率
100円/USD	0.72	0.73	-0.01	1.4%高
100円/RUB	61.60	58.80	+2.80	4.5%安
100円/GBP	0.57	0.59	-0.02	3.5%高
100円/EUR	0.66	0.66	-	-
100円/CHF	0.64	0.65	-0.01	1.6%高
100円/TWD	22.27	22.04	+0.23	1.0%安
100円/PHP	39.75	40.50	-0.75	1.9%高

たばこ事業データ

1. サマリー

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	1,302	1,392	1,413		4,106	億本
(前年同期比)	+1.3%	+3.7%	+1.5%		+2.1%	
Combustibles販売数量	1,282	1,370	1,390		4,042	億本
(前年同期比)	+1.2%	+3.7%	+1.2%		+2.1%	
GFB販売数量	910	1,015	1,030		2,955	億本
(前年同期比)	+4.2%	+10.5%	+7.7%		+7.5%	
RRP販売数量	20	21	23		65	億本
(前年同期比)	+3.0%	+4.7%	+17.1%		+8.2%	
自社たばこ製品売上収益	5,791	6,381	6,741		18,913	億円
(前年同期比)	+15.3%	+5.8%	+2.8%		+7.4%	
	(+6.3%)*	(+7.3%)*	(+4.7%)*		(+6.0%)*	
RRP関連売上収益	203	192	227		621	億円
(前年同期比)	+6.4%	-4.4%	+15.0%		+5.6%	
調整後営業利益	2,251	2,250	2,267		6,768	億円
(前年同期比)	+14.1%	-1.2%	-0.7%		+3.6%	
	(+4.6%)*	(+3.2%)*	(+7.9%)*		(+5.3%)*	

*為替一定ベース

2. 自社たばこ製品売上収益実績 要因

(億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	5,020	6,032	6,554		17,607
数量差	-5	+56	-78		-27
単価差/Mix	+321	+381	+384		+1,087
2023為替一定	5,336	6,470	6,861		18,667
FX	+455	-89	-120		+246
2023	5,791	6,381	6,741		18,913

3. 調整後営業利益実績 要因

(億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	1,973	2,278	2,283		6,534
数量差	-30	-64	-102		-196
単価差/Mix	+324	+335	+354		+1,013
その他	-203	-197	-72		-472
2023為替一定	2,065	2,352	2,463		6,880
FX	+186	-101	-196		-111
2023	2,251	2,250	2,267		6,768

たばこ事業データ

4. クラスター別販売及び財務実績

販売数量

(億本)

Asia	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3		2023 Q4	YTD	
総販売数量	321	+2.1%	314	-1.1%	326	-0.3%		960	+0.2%
GFB販売数量	204	+9.1%	205	+6.7%	214	+4.7%		623	+6.7%
Western Europe	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3		2023 Q4	YTD	
総販売数量	261	-5.2%	274	-3.3%	270	-4.1%		805	-4.2%
GFB販売数量	183	-2.1%	194	+0.1%	192	+0.9%		569	-0.3%
EMA	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3		2023 Q4	YTD	
総販売数量	720	+3.4%	804	+8.4%	817	+4.2%		2,341	+5.4%
GFB販売数量	523	+4.7%	615	+15.7%	624	+11.2%		1,762	+10.6%

財務

(億円)

Asia	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3		2023 Q4	YTD	
自社たばこ製品売上収益	1,962	+1.7%	1,964	-5.3%	2,065	-1.1%		5,991	-1.7%
		(-1.0%)*		(-5.4%)*		(-1.3%)*			(-2.6%)*
調整後営業利益	758	+0.2%	693	-14.2%	677	-8.9%		2,128	-7.8%
		(+0.5%)*		(-14.1%)*		(-7.6%)*			(-7.2%)*
Western Europe	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3		2023 Q4	YTD	
自社たばこ製品売上収益	1,405	+12.2%	1,625	+13.9%	1,646	+13.1%		4,676	+13.1%
		(+4.7%)*		(+6.2%)*		(+1.2%)*			(+4.0%)*
調整後営業利益	647	+5.8%	731	+9.1%	721	+10.9%		2,100	+8.7%
		(+3.3%)*		(+4.6%)*		(+1.7%)*			(+3.2%)*
EMA	2023 Q1		2023 Q2		2023 Q3		2023 Q4	YTD	
自社たばこ製品売上収益	2,424	+31.8%	2,792	+10.4%	3,030	+0.6%		8,246	+11.7%
		(+15.1%)*		(+18.2%)*		(+10.5%)*			(+14.3%)*
調整後営業利益	846	+40.0%	826	+3.2%	869	-2.4%		2,540	+10.7%
		(+11.3%)*		(+19.6%)*		(+25.3%)*			(+19.6%)*

*為替一定ベース

たばこ事業データ

5. クラスター別自社たばこ製品売上収益実績 要因

(億円)

Asia	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	1,929	2,075	2,089		6,093
数量差	+44	+2	-24		+23
単価差/Mix	-64	-114	-3		-182
2023為替一定	1,909	1,963	2,061		5,934
FX	+52	+1	+3		+57
2023	1,962	1,964	2,065		5,991

Western Europe	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	1,252	1,427	1,455		4,134
数量差	-86	-94	-111		-291
単価差/Mix	+145	+182	+129		+455
2023為替一定	1,311	1,515	1,473		4,298
FX	+94	+110	+174		+378
2023	1,405	1,625	1,646		4,676

EMA	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	1,839	2,530	3,010		7,379
数量差	+36	+148	+57		+241
単価差/Mix	+241	+314	+259		+814
2023為替一定	2,116	2,992	3,327		8,435
FX	+308	-200	-297		-189
2023	2,424	2,792	3,030		8,246

6. クラスター別調整後営業利益実績 要因

(億円)

Asia	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	757	807	743		2,308
数量差	+37	-60	-15		-38
単価差/Mix	-62	-108	-7		-177
その他	+29	+54	-35		+48
2023為替一定	761	694	686		2,141
FX	-2	-1	-10		-13
2023	758	693	677		2,128

Western Europe	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	612	670	650		1,932
数量差	-99	-69	-107		-275
単価差/Mix	+160	+150	+122		+432
その他	-41	-50	-4		-95
2023為替一定	632	701	661		1,995
FX	+15	+30	+60		+105
2023	647	731	721		2,100

EMA	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	604	800	890		2,294
数量差	+32	+64	+20		+117
単価差/Mix	+227	+293	+238		+758
その他	-191	-200	-34		-424
2023為替一定	672	957	1,115		2,744
FX	+173	-131	-247		-204
2023	846	826	869		2,540

たばこ事業データ

7. ブランド別 GFB販売数量 (前年同期比)

(億本)

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
Winston	462 +3.2%	528 +11.8%	530 +9.1%		1,520 +8.1%
Camel	232 +15.1%	256 +21.3%	272 +18.1%		760 +18.2%
MEVIUS	108 -0.4%	113 -1.1%	114 -1.9%		335 -1.2%
LD	108 -6.8%	118 -2.4%	114 -7.8%		340 -5.7%

8. 実績為替レート (前年同期比)

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
100JPY/USD	0.76 13.8%高	0.73 5.3%高	0.67 1.1%安		0.72 7.7%高
100JPY/RUB	54.96 34.2%高	58.98 12.9%安	67.08 52.6%安		59.67 6.1%安
100JPY/GBP	0.62 3.0%高	0.58 5.4%高	0.53 14.1%高		0.58 6.7%高
100JPY/EUR	0.70 8.8%高	0.67 8.2%高	0.62 12.7%高		0.67 9.9%高
100JPY/CHF	0.70 13.6%高	0.65 13.7%高	0.59 14.4%高		0.65 13.9%高
100JPY/TWD	22.96 4.7%高	22.33 1.5%高	21.59 1.5%安		22.40 2.2%高
100JPY/TRY	*	*	*		*
100JPY/PHP	41.43 6.9%高	40.48 0.2%高	38.21 1.8%高		40.20 4.2%高

*現地通貨vs 円増減率：(前年同期の現地通貨レート/各期の現地通貨レート) -1で算出

IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2023年9月末日レートを適用。

(100円/TRY：18.28、参考100円/USD：0.67)

たばこ事業データ

9. Key markets

出典：市場シェアは、JT グループ内部データ等。特に言及がない限り、市場シェアは 2023 年 1 月から 9 月までの平均ベース。

イタリア、ルーマニア、ロシア、スペイン及びトルコ は 2023 年 1 月から 8 月までの平均ベース。

シェアは、combustibles及びheated tobacco products (HTP) のたばこ総需要に基づいて算出。

日本

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本)
総販売数量		151	161	165		476
		+4.5%	+2.1%	+0.6%		+2.3%
Combustibles販売数量		134	143	145		422
		+2.6%	+0.3%	-1.8%		+0.3%
RRP販売数量		17	18	19		54
		+22.4%	+19.1%	+22.6%		+21.3%
HTS販売数量		12	13	15		39
		+51.8%	+41.8%	+46.5%		+46.5%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		42.7%	42.8%	43.1%		42.9%	+0.6ppt
Combustibles SoM		38.0%	38.1%	38.0%		38.0%	-0.2ppt
GFB (SoM)		26.5%	26.6%	26.6%		26.6%	+0.5ppt
Winston (SoM)		3.9%	3.8%	3.8%		3.8%	-0.6ppt
MEVIUS (SoM)		16.8%	16.7%	16.4%		16.7%	-1.0ppt
Seven Stars (SoM)		4.7%	4.7%	4.7%		4.7%	-0.1ppt
Camel (SoM)		5.9%	6.0%	6.4%		6.1%	+2.1ppt
RRP SoM*		4.8%	4.7%	5.1%		4.9%	+0.8ppt
HTS SoS		9.3%	9.5%	10.5%		9.8%	+2.2ppt
Total SoV		42.8%	42.9%	43.2%		43.0%	+0.0ppt

*RRP SoMは、heated tobacco sticks (HTS) 及び infused tobacco capsules (Infused) の市場シェア

フィリピン*

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本)
総販売数量		69	54	59		181
		+0.0%	-10.0%	-6.0%		-5.1%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		40.7%	42.4%	43.2%		42.1%	+3.7ppt
GFB (SoM)		18.5%	20.9%	21.9%		20.4%	+6.0ppt
Winston (SoM)		11.4%	11.8%	11.7%		11.6%	-0.0ppt
Camel (SoM)		7.1%	9.0%	10.2%		8.7%	+6.0ppt
Total SoV		38.0%	39.5%	40.6%		39.3%	+3.0ppt

*SoM及びSoVは、combustiblesのみの市場シェア

台湾*

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本)
総販売数量		35	34	35		105
		-1.7%	-3.6%	-5.6%		-3.7%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		50.0%	50.2%	50.5%		50.2%	+1.4ppt
GFB (SoM)		40.8%	41.0%	41.2%		41.0%	+0.9ppt
Winston (SoM)		14.1%	14.4%	14.6%		14.4%	+0.5ppt
LD (SoM)		7.7%	7.8%	7.9%		7.8%	+0.3ppt
MEVIUS (SoM)		18.9%	18.8%	18.7%		18.8%	-0.0ppt
Total SoV		54.0%	54.2%	54.1%		54.1%	+1.1ppt

*SoM及びSoVは、combustiblesのみの市場シェア

たばこ事業データ

イタリア

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本) YTD
総販売数量		48	48	50		147
		+1.3%	+1.9%	+1.2%		+1.5%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		23.1%	23.0%	23.6%		23.2%	+0.2ppt
GFB (SoM)		19.4%	19.1%	19.8%		19.4%	+0.2ppt
Winston (SoM)		12.7%	12.3%	13.0%		12.6%	+0.4ppt
Camel (SoM)		6.6%	6.8%	6.9%		6.8%	-0.2ppt
Total SoV		23.0%	22.8%	23.4%		23.0%	+0.2ppt

スペイン

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本) YTD
総販売数量		37	41	37		116
		-6.2%	-4.6%	+5.1%		-2.2%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		27.9%	28.1%	27.5%		27.9%	-0.0ppt
GFB (SoM)		25.8%	25.3%	25.4%		25.5%	-0.0ppt
Winston (SoM)		14.7%	14.3%	13.9%		14.3%	+0.1ppt
Camel (SoM)		11.0%	11.0%	11.4%		11.1%	-0.1ppt
Total SoV		27.7%	28.0%	27.3%		27.7%	+0.1ppt

英国

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本) YTD
総販売数量		40	39	38		117
		-17.1%	-18.2%	-22.1%		-19.2%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		44.3%	43.5%	43.5%		43.8%	-0.9ppt
GFB (SoM)		0.1%	0.1%	0.1%		0.1%	-0.0ppt
Amber Leaf (SoM)		10.4%	10.0%	9.9%		10.1%	-1.0ppt
Sterling (SoM)		12.9%	12.2%	11.7%		12.3%	-1.2ppt
Benson & Hedges (SoM)		11.2%	11.4%	11.8%		11.4%	+0.9ppt
Total SoV		45.0%	44.6%	44.3%		44.6%	-0.8ppt

たばこ事業データ

ルーマニア

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本)
						YTD
総販売数量		17	19	21		57
		+5.7%	+4.1%	+2.7%		+4.0%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		27.8%	27.6%	27.7%		27.7%	+0.2ppt
GFB (SoM)		17.6%	17.7%	18.0%		17.8%	+2.0ppt
Winston (SoM)		12.3%	12.0%	11.9%		12.1%	-1.7ppt
Camel (SoM)		5.0%	5.6%	6.0%		5.5%	+4.2ppt
Total SoV		28.4%	28.3%	28.4%		28.4%	+0.0ppt

ロシア

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本)
						YTD
総販売数量		176	200	210		586
		-4.5%	+2.4%	-4.0%		-2.1%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		36.5%	37.4%	37.7%		37.2%	+0.4ppt
GFB (SoM)		27.7%	29.3%	30.1%		29.0%	+1.5ppt
Winston (SoM)		11.8%	12.9%	13.4%		12.7%	+0.7ppt
Camel (SoM)		8.2%	8.5%	8.8%		8.5%	+0.8ppt
LD (SoM)		7.5%	7.8%	7.8%		7.7%	+0.0ppt
Total SoV		37.7%	38.6%	38.8%		38.3%	+0.7ppt

トルコ*

Volume evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	(億本)
						YTD
総販売数量		72	108	94		274
		+7.7%	+23.1%	+14.1%		+15.6%

Share evolution

	2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM		27.2%	27.1%	26.9%		27.1%	-0.8ppt
GFB (SoM)		25.0%	24.9%	24.7%		24.9%	-0.6ppt
Winston (SoM)		17.2%	17.2%	17.2%		17.2%	+0.3ppt
Camel (SoM)		5.7%	5.5%	5.4%		5.5%	-0.7ppt
LD (SoM)		2.1%	2.1%	2.1%		2.1%	-0.2ppt
Total SoV		26.5%	26.3%	26.3%		26.4%	-0.8ppt

*SoM及びSoVは、RMCのみの市場シェア

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2023 年 10 月 31 日)

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 (実施地域)	起源	備考
JTE-052 (delgocitinib)	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase1 (国内)	自社品	
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化 するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応 を抑制する	Phase2 (国内)	自社品	
				Phase2 (海外)		
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及び 血糖値の正常化を行う	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-861	慢性心不全 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するビルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、心機能を改善する	Phase1 (海外)	自社品	
JTE-061 (tapinarof)	アトピー性皮膚炎 /外用	AhR モジュレーター	アリル炭化水素受容体 (AhR) を活性化 し、皮膚の炎症を抑制する	申請中 (国内)	導入品	・ Dermavant Sciences GmbH社から導入 ・ 鳥居薬品と共同開発
	尋常性乾癬 /外用			申請中 (国内)		
	小児アトピー性皮膚炎 /外用			Phase3 (国内)		
JTC-064	神経変性疾患 /経口	PDHK阻害	ビルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化 し、代謝異常を是正する	Phase1 (海外)	自社品	
JTV-161	肺動脈性肺高血圧症 /経口	Pim-1阻害	Pim-1を阻害し、肺血管細胞の異常増殖 を抑制する	Phase1 (海外)	自社品	
JTE-162	自己炎症・自己免疫疾患/ 経口	NLRP3阻害	NLRP3インフラマソームの活性化を抑制 し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase1 (海外)	自社品	

(※) 開発段階の表記は投薬開始を基準としています。

(※) 掲載以外に、将来の剤型追加の可能性を検討するための臨床試験を行っています。

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	AstraZeneca社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社 Salubris社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時（2023年7月31日）からの変更点

- ・ JTE-061：アトピー性皮膚炎および尋常性乾癬を適応症として、「JTE-061（タピナロフ）クリーム」の国内における製造販売承認申請を実施（2023年9月15日）
- ・ JTE-061（小児アトピー性皮膚炎/外用）：国内Phase 3 開始
- ・ delgocitinib：導出先のLEO Pharma社が、「デルゴシチニブ」のクリーム剤について、慢性手湿疹を適応症として欧州医薬品庁に提出した販売承認申請が受理された旨発表（2023年8月17日）

用語の定義

用語	定義
売上収益	たばこ税及びその他の代理取引取扱高を除いた売上収益
為替一定ベース core revenue	前年同期の為替レートをを用いて換算／算出することにより為替影響を除いた自社たばこ製品売上収益＋医薬事業・加工食品事業・その他の売上収益。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
調整後営業利益	営業利益＋買収に伴い生じた無形資産に係る償却費＋調整項目（収益及び費用）＊ ＊調整項目（収益及び費用）＝のれんの減損損失±ストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース	前年同期の為替レートをを用いて換算／算出することにより、為替影響を除いた指標。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
四半期利益／当期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益／当期利益
自社たばこ製品売上収益	物流事業／製造受託等を除く売上収益
RRP 関連売上収益	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス／関連アクセサリ等を含む Reduced-Risk Products の売上
Combustibles	製造受託／水たばこ／加熱式たばこ／無煙たばこ／E-Vapor を除く可燃性のたばこ製品
RMC	紙巻たばこ（Ready-Made-Cigarettes）
Fine cut tobacco (FCT)	一般的にお客様ご自身で、巻紙を用いて手巻きする、または、器具と筒状の巻紙を用いて RMC を作成するための刻みたばこ
シガリロ	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、RMC と同様の形態に巻き上げた製品。日本マーケットにおいてはリトルシガーとも呼ばれ、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品。当社製品ポートフォリオにおける heated tobacco sticks (HTS), infused tobacco capsules (Infused), E-Vapor, 無煙たばこ製品等が含まれる
Heated tobacco products (HTP) ／加熱式たばこ	たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させずに、加熱等によって発生するたばこペイパー（たばこ葉由来の成分を含む蒸気）を愉しむ製品
Heated tobacco sticks (HTS)	高温加熱型の加熱式たばこ。1 スティック＝RMC1 本として換算
Infused tobacco capsules (Infused)	低温加熱型の加熱式たばこ。1 パック当たり RMC20 本として換算
E-Vapor／電子たばこ	たばこ葉を使用せず、装置内もしくは専用カートリッジ内のリキッド（液体）を電気加熱させ、発生するペイパー（蒸気）を愉しむ製品。クローズドタンク製品においては、1 カプセル当たり RMC20 本として換算。オープンタンク製品においては、リフィル 10ml 当たり RMC100 本として換算
無煙たばこ	口腔内で味・香りを楽しむたばこ製品（日本では嗅ぎたばこに分類）で、粉状にしたたばこ葉を包んだポーションと呼ばれる袋を口に含むものは Snus、たばこ葉を使わずニコチンを含んだパウチを口腔内で楽しむニコチンパウチと呼ぶ。Snus 及びニコチンパウチ 1 パウチ＝RMC1 本として換算

GFB (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LD の4ブランドが含まれる
総販売数量	水たばこ／製造受託／RRP デバイス及び関連アクセサリを除くたばこ製品の販売数量
Combustibles 販売数量	水たばこ／E-Vapor／無煙たばこ（Snus・ニコチンパウチ）／加熱式たばこ／製造受託を除くたばこ製品の販売数量
GFB 販売数量	GFB（Global Flagship Brand）に含まれる Winston、Camel、MEVIUS、LD の Combustibles 及び Snus 製品の販売数量
RRP 販売数量	Reduced-Risk Products (RRP)の販売本数（RMC として換算）。デバイス／関連アクセサリ等 は含まない
HTS 販売数量	Heated tobacco sticks (HTS)の販売本数。デバイス／関連アクセサリ等は含まない
売上シェア（SoV）	販売数量と税込小売価格を掛け合わせて算出される、市場の総小売価格に対するシェア
たばこ総需要／総需要	市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模（自社推計）
Combustibles 総需要	市場全体における Combustibles の本数ベースの市場規模（自社推計）
RRP 総需要	市場全体における Reduced-Risk Products (RRP)の本数ベース（RMC として換算）の市場規模（自社推計）
クラスター	<p>JT グループのたばこ事業をより深く理解していただくために、同事業を3地域（Asia, Western Europe, EMA）に区分けした。なお、これらのクラスターは、JT グループの経営体制を反映したものではない</p> <ul style="list-style-type: none"> Asia：日本を含むアジア全域 Western Europe (WE)：西欧地域 EMA：東欧、中近東、アフリカ、トルコ、南北アメリカ大陸及び Global Travel Retail を含む
Global Travel Retail (GTR)	従来の国内たばこ事業と海外たばこ事業の免税市場を統合した呼称。GTR でのパフォーマンスは、EMA クラスターに含まれる。
手元流動性	現預金＋短期保有の有価証券＋現先
有利子負債	短期借入金＋コマーシャルペーパー＋長期借入金＋社債
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	<p>営業活動キャッシュ・フロー＋投資活動キャッシュ・フロー ただし以下を除く</p> <ul style="list-style-type: none"> 営業活動キャッシュ・フローから、リース取引から生じる減価償却費／利息及び配当金の受取額とその税額影響／リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響／その他 投資活動キャッシュ・フローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出／投資の売却及び償還による収入／定期預金の預入による支出／定期預金の払出による収入／その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- （１）喫煙に関する健康上の懸念の増大
- （２）たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- （３）国内外の訴訟の動向
- （４）たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- （５）国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- （６）市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- （７）買収やビジネスの多角化に伴う影響
- （８）国内外の経済状況
- （９）為替変動及び原材料費の変動
- （１０）自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社 IR 広報部
東京都港区虎ノ門4-1-1

投資家の皆様はこちら：jt.ir@jt.com

メディアの皆様はこちら：jt-kouhou@jt.com